

(様式3)

平成30年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市明野児童館	所在地	伊勢市小俣町新村399-3
指定管理者名	社会福祉法人 宮山	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
設置目的	児童の健全育成を図るため、児童福祉法の規定に基づき放課後児童健全育成事業を行う。		
業務内容	1.運営及び事業に関する業務(放課後児童クラブ事業、入退会に係る手続き・承認等、利用者負担の徴収等、施設開放) 2.管理に関する業務(伊勢市明野児童館の施設維持管理) 3.その他の業務(管理上必要と認める業務)		
施設概要	施設面積(延べ床面積)283.03㎡、鉄筋コンクリート造2階建て 施設内容:遊戯室、集会室、図書室、事務室、炊事室、玄関ホール等		
職員体制	館長を含め指導員15名		
施設所管課名	こども課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	20,321,000	18,996,000	15,352,000	△ 3,644,000
	利用料金	3,830,000	4,133,000	4,095,772	△ 37,228
	その他	108,075	75	133,168	133,093
	計(a)	24,259,075	23,129,075	19,580,940	△ 3,548,135
	支出				
	人件費	19,687,724	19,271,231	15,872,041	△ 3,399,190
	管理運営費	3,732,975	3,641,553	3,418,347	△ 223,206
その他	0	0	583,953	583,953	
計(b)	23,420,699	22,912,784	19,874,341	△ 3,038,443	
収支差引額(a)-(b)	838,376	216,291	△ 293,401	△ 509,692	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	明野児童館においての障がい児童受入がなくなったため、これに伴う障がい加配(指定管理料収入)が減った。
----------------------------------	--

3 評価(別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none">・業務計画書に従い管理運営を行った。・児童の安心・安全に基づく活動が何よりも優先される。活動中の児童の行動や言動をつぶさに観察し、指導すべき場面では時を置かず指導支援が必要である。そのためのヒアリング報告は職員全員が共有できるような情報共有の研修に努めた。・児童館活動や放課後児童クラブ活動は、児童に年齢に応じた体験や創造力が身につく活動、仲間づくりや協調性を養う活動に重点を置くべきであると考えている。本来の目的や趣旨に即し、児童に健全な遊びを通して生活の安定と能力の発達を支援するため、プレイ(集団遊び)、チャレンジ(目標を立てて、個々の能力を高める取り組み)を創設して取り組んだ。・地域の小学校、保育園等に児童館だよりを配布し児童館活動の広報に努めた。・保護者アンケートを実施し事業の改善に努めることとした。	<p>施設の管理については適正に行われていた。工作教室など小学生や乳幼児向けの行事を適宜行い、児童館の役割を担っている。</p> <p>また、来館者の増加に向け利用者ニーズを把握し、支援内容の充実を図っている。</p> <p>施設特有の児童の行動観察の難しさがあるが、安全管理の意識が高く、適切に職員を配置し、児童の事故を未然に防いでいる点について、大きく評価できる。引き続き安全管理の徹底に努められたい。</p>

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を確実に理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	管理運営を通して、施設の目的である児童の健全育成に資することができたと考える。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成している。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	年間行事計画を見直し、前年度比2787人の利用者増となり、目標の年間5000人を上回った。さらなる事業改善や新企画による利用者増を目指したい。	A	目標数を上回る利用者があった。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	当初の計画通りの供用日数・時間を達成できた。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。また、警報発令時は臨時休館にするなど、適切な運営がなされた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	児童館担当職員・児童クラブ指導員の業務内容を明確にし、館長の下、主任・副主任を配置するなど適正、適切な配置・勤務ができるよう努めた。	A	現場責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制としても効率化を図りながら、業務が滞らないよう行うことができた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	確実に毎月の管理業務報告書を提出できた。また、こども課とも連絡を密にし、業務の遂行に努めた。	A	報告・連絡・相談等、速やかに連絡を行い、意思疎通を図っていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	事業計画書、点検記録等整備され保管されている。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	児童館行事を通して地域の方々との交流を企画したが、目的が達成されたとは感じていない。児童館行事を地域住民と一体となるような新企画の必要性を感じる。	A	地域の方々と積極的に交流を行っており、地域の振興を図っていた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	利用者については受付簿に確実に氏名、学年、住所、利用時間等の記録を取った。不審者対策として、大人の利用は幼児引率の場合に限定して許可した。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	本部・事務局と連携し帳簿等の作成を行った。口座引き落としが出来なかった場合は、保護者に文書通知し、現金で納入してもらった。利用料の未収は1件もなかった。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の管理等は主任が中心となり、安全・確実な保管に努めた。外部への持ち出しは原則禁止した。	A	担当係を選任し、個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、情報流出防止に努めている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	職員全員が、放課後児童クラブ運営指針に基づく、児童福祉法等関係法令の遵守に努めた。三児連主催の研修会等へも積極的に参加した。	A	法令違反は見受けられない。

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	B	年間行事計画の内、これまでの児童館事業を全て見直し、お祭りで金銭を徴収したり、食べ物を提供するような行事は廃止した。本来の目的や趣旨に添うような、児童に健全な遊びを通して生活の安定と能力の発達を支援できる内容を創意工夫し、利用者数の増加をはかった。今後も、児童館事業の創意工夫に取り組みたい。	A	事業の無駄を省き、支援内容の充実を図っている。
	②利用者の平等な利用	A	児童への個別の対応や施設の利用等にある程度の基準を設けて共通理解をはかった。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	毎月、地域内の小学校、保育園等に通信を配布し情報の提供を行った。	A	引き続き、利用者の増加を図るための効果的な情報提供を検討されたい。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルを使用するような事態の発生はなかった。しかし、子どもが犠牲となる事件事故を想定した、不審者対策に重点を置いた訓練の実施も行った。地震・津波等については毎月避難訓練を実施した。	A	毎月避難訓練を実施し、緊急時の確認を行っている。
	⑤苦情解決体制及び対応	B	苦情があった場合は、主任が内容を聴き取り、館長が苦情対応責任者として理解を得られるように迅速に対応した。内容によっては、本部・事務局と連携して解決にあたることとしている。指導員の対応に不満を持つ事案もあった。指導員の問題解決能力が課題である。	A	適切な対応ができる体制ができており、苦情の際にはすぐに市への報告もあった。
	⑥自主事業	B	多様な利用者に対応できるように毎月種々の企画行事を実施した。特に工作教室や将棋教室は人気が高く、毎回参加希望も多い。児童の保護者の意見を取り入れて映画会を初めて実施した。	A	ニーズを把握し、事業の改善を行い新たな事業を検討し、次年度以降の取り組みに活かしている。
	⑦事業の評価	B	管理事業報告作成時に必ず当月事業内容の振り返りを行い改善点等の確認を行った。特に事業内容が児童館活動の趣旨や目的に照らして、質の高い活動となるよう継続的に改善に取り組んだ。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われ、利用者のニーズに対応している。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的な施設の安全点検等を行い毎月報告した。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	B	備品は丁寧に扱い、保守等適切に行なった。児童への使い指導は、その都度確実に指導した。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	館内は高所を除き、毎日清掃を実施し児童が快適に過ごせる環境作りに努めた。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵は定められたところに管理し施錠は指導員が確実にを行い、退館の際の最終確認は主任、館長が行った。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。